



水田で放射性物質対策をする研究会の人々(映画「天に栄える村」から)

福島、農家の挑戦と苦悩

「コメ日本一」放射能と闘う

東京電力福島第一原発事故による放射性物質の飛散に直面し、それを乗り越えようとする福島県天栄村の農家を追うドキュメンタリー映画「天に栄える村」が完成、上映会が始まる。

第一原発から約70キロ離れた天栄村。21人の農家でつくる「天栄米栽培研究会」は2008年から「日本一おいしいお米作り」を目標にし、米の食味日本一を競うコンクールで金賞に輝いてきた。11年、海外販売も始めようという矢先、原発事故が起きる。

監督の原村政樹さん(56)は研究会が耕作放棄田を再生する環境をテレス番組にした縁があった。事故後、村に向かう。先が見えない中、「あきらめたくない。米のセシウムをゼロにする」と自ら情報を集め手を尽くし、放射性物質を抑え込むという人々の姿をカメラで捉えた。

11年秋、村の米の測定は全て検出限界以下、コンクールでも金賞

記録映画「天に栄える村」来月上映会

を得る。だが米は売れなかった。研究会のメンバーは東京などで消費者に状況を話す試みもした。映画は12年秋、再び稲穂が黄金色になった時までを収めている。「未来に農地を渡すために前向きに生きる彼らの営みを伝えたかった」と原村さん。市民102人と72団体が趣旨に賛同、制作資金に協力した。研究会は12年、5年連続で金賞を獲得。コメの売れ行きはやや持ち直したが、それでも苦戦している。

8月24日に東京都渋谷区の東京ウイメンズプラザで上映会、9月下旬から2週間福島市で上映予定。自主上映会の開催も呼びかけている。問い合わせは桜映画社(電話03・3478・6110、サイト<http://www.sakurainc.com/tensaka/>)。

(編集委員・大村美香)

◆「オチピサン」は休みました。